

1. 応募の動機・理由を簡単にご記入ください。

住生活の学習は、「健康で快適な住生活を営む力をつけること」を1番のねらいとしている。「家」は、家族との絆を大切にするとところであり、「家」は地域社会や家庭生活の基盤であると考え、学習を通して子どもたちの創造性や独創性を引き出し、「家」に対する認識を深めていくきっかけにしている。そのために以下に示す大きく4つの視点から学習を進めている。

2. 学習予定の概要を記入してください。

①<住まいの変遷の学習>

日本史をさかのぼり、竪穴式住居から、奈良～平安時代の住まい、鎌倉時代の書院造り、明治時代の和洋折衷建築を3Dの映像を使って、学習させている。このような住まいの変遷を詳しく学習することは、建物の構造の理解にとどまらず日本人の家族関係や生活様式の変化、現代の生活の豊かさを知ることにつながっている。

②<日本のいろいろな地域の住まいの学習>

北海道札幌市、岐阜県白川郷、石川県金沢市、沖縄県那覇市などその地域に住む人々の知恵や苦勞、地域に根ざした住まい方などを映像から学び、生活者としての課題をみつけるようにしている。

③<住まいの間取りの学習>

住まいには「生理・衛生の空間」「家事の空間」「家族共有の空間」「個人の空間」「その他の空間」があることを理解させ、どこで何をすればいいのか、住まいの図を見ながら考えさせる。目的に応じて、住空間が分かれていることを学習する。手作りの平面図（カラーB4版）と家族の紙人形を与え、5人家族の場合、誰にどの部屋を割り当てるかという実習をさせている。発展的な学習として、高齢者、乳幼児、障害者等にも考慮した間取りになるように、家族を変化させ、高齢者や乳幼児などを想定した家族についても、間取りを選ばせ、暮らし方を考えさせる。

④<安全な住まいと防災の学習>

最近、地震が多発していることから防災をからめた安全な住まいの学習や地震への備えの学習を行っている。「7000円で1週間生き延びるために必要な防災グッズ」を考えさせ、ワークシートにまとめさせている。まとめさせた後、最新の防災グッズを映像を使って提示し、さらに、地震時の避難場所や離ればなれになった家族への連絡方法などを考えさせている。

⑤<2階建て住まいの自由設計>

「将来私の住みたい家」というテーマで住まいを各自で自由にプランニングし、A4サイズの設計図2枚に2階建ての設計図をかかせている。設計図をかくことで自然に将来の生活設計を考えることができ、そこには人生における個々の価値観が芽生えてくる。設計図には暮らし方に合わせて、簡単な家具の配置をさせたり、部屋にあった色をつけたりさせている。最後に自分がかいた設計図のセールスポイントを作文に書き、発表し合っている。発表会では優秀作品を書画カメラとプロジェクターを使って大型スクリーンに映し出し、住まいの基本的な機能を果たしてかを検証するとともに、団らんの場所、プライバシーの配慮、高齢者、乳幼児、障害者への配慮ができていないか、想定家族が暮らしやすい住まい方になっているか、考えさせている。中学1年生とは思えない素晴らしい設計図がたくさんできあがっている。

3. 今までに住まいやまちに関する学習を行ったことがありますか。

- 1 ある 2 ない

1の方は学習の内容についてガイドラインの該当する領域に○をつけてください

○1 人と住まい

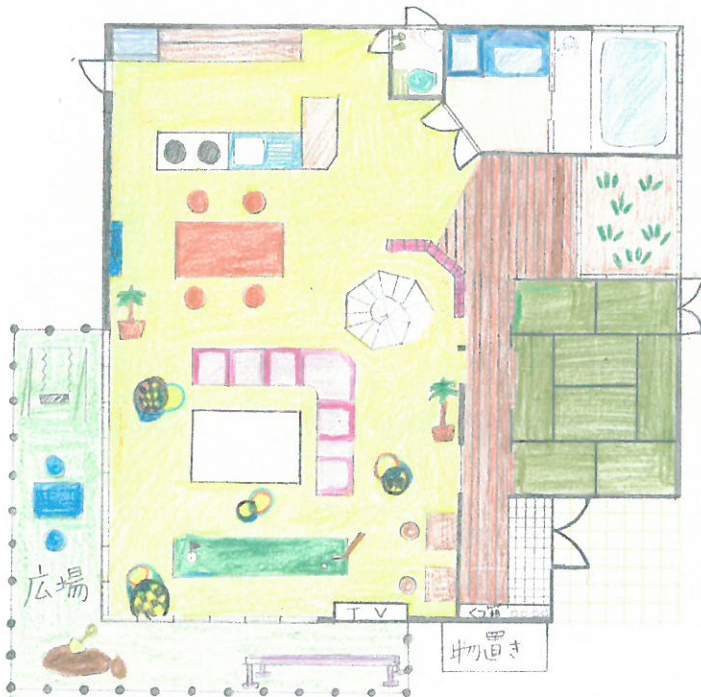
○2 住まいの空間と構成

3 住まいと社会

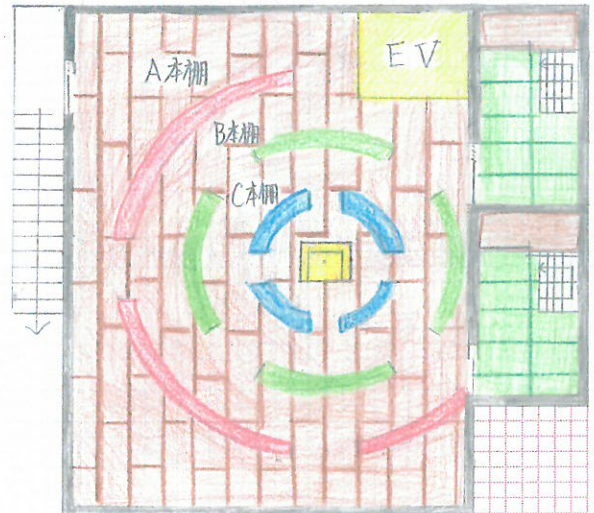
○4 住まいと環境

その他特記事項がありましたらお書きください

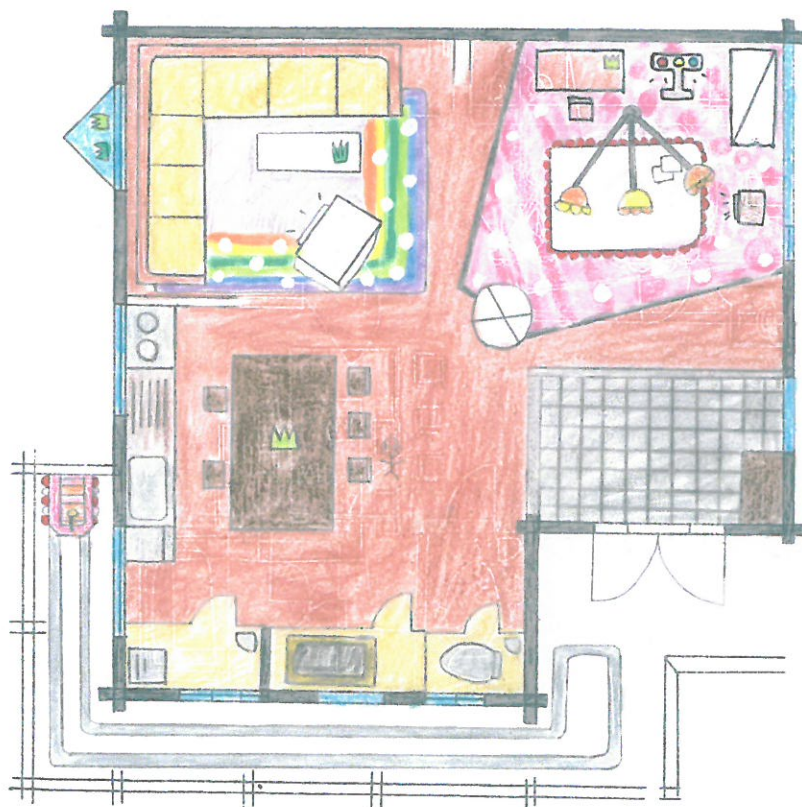
<生徒作品（中学1年生9名の作品）>



生徒作品 図書室↓

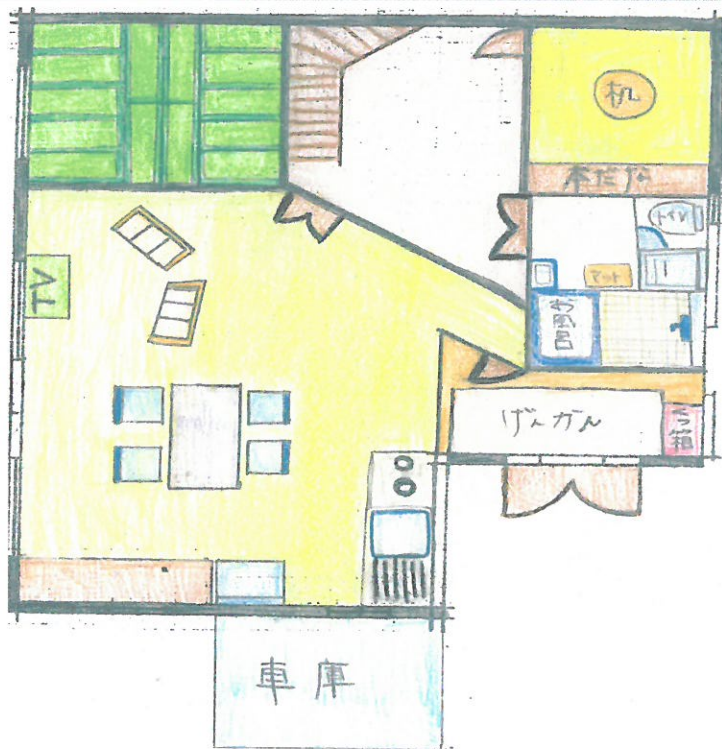


生徒作品 住宅1階↑

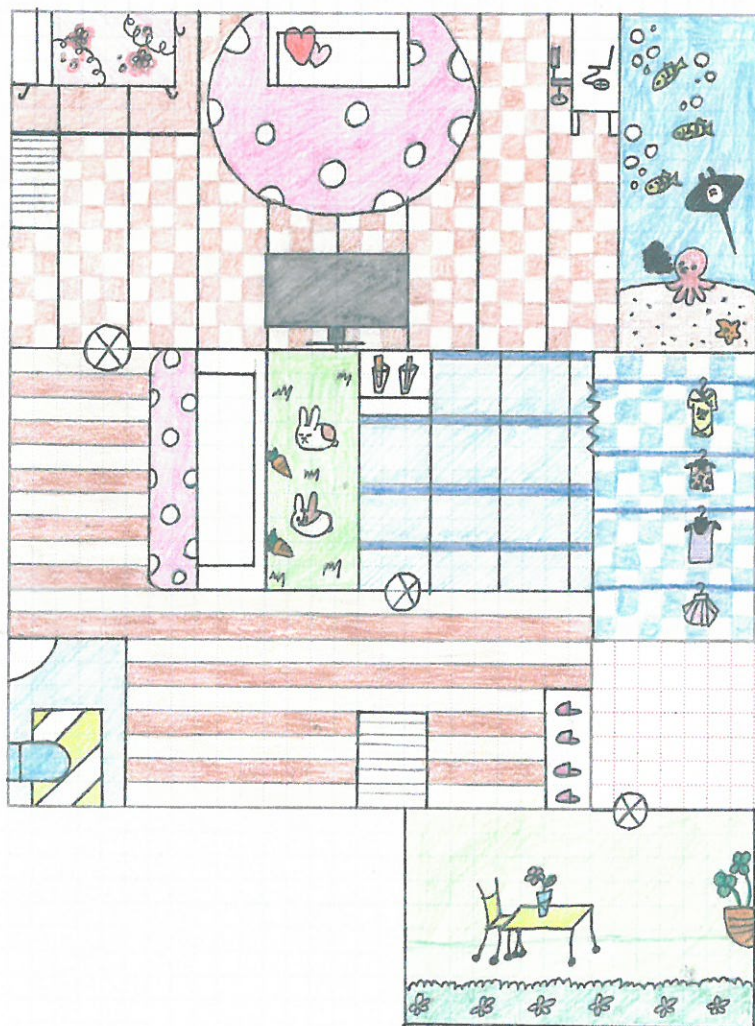


生徒作品
子ども部屋
←

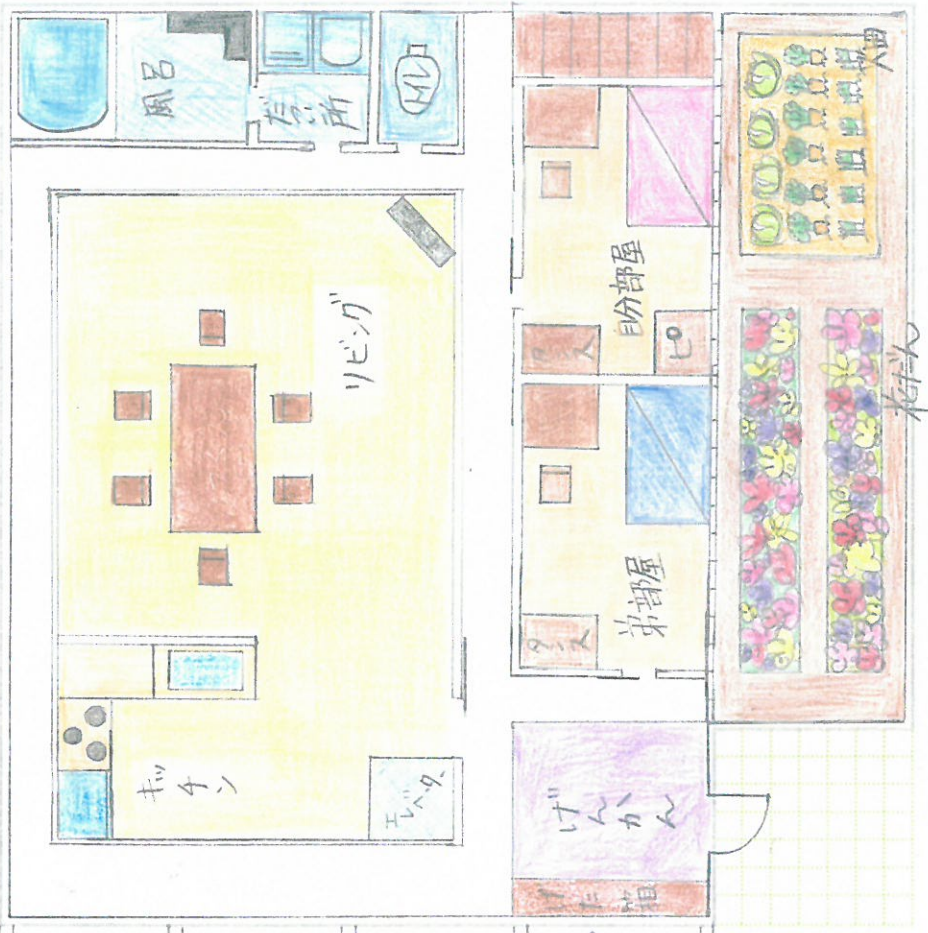
生徒作品 住宅 ←



生徒作品 水族館と住宅 ←



生徒作品 花のある住宅 ←



生徒作品 店舗と住宅 ←

